

事業番号	15 06 01	事業改善シート (R2年度実施事業分)	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	生徒指導推進事業費	部局	教育委員会事務局
		課・室	心の支援課
		実施期間	S58 ~
		E-mail	kokoro@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			
総合的に展開する重点政策	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり	
	4-4 生命・生活リスクの軽減	5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり	

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<p>○不登校児童生徒在籍比は依然高い。 →H30不登校児童生徒の在籍比 小学校(県)0.95%(国)0.70% 中学校(県)3.84%(国)3.65% 高校(県)1.15%(国)1.63%</p> <p>○いじめは「被害性」に着目、「けんか・ふざけ合い」も集計 認知件数(H29)5,329件→(H30)9,206件、1,000人当たりのいじめの認知件数 H30(県)40.0件 (国)40.9件</p> <p>○未成年者の自殺死亡率10万人あたり4.78人 全国ワースト1位(H30)</p> <p>○多様化する児童生徒等の悩みについて、相談支援体制の充実を図ることが必要。</p> <p>○学校生活相談センター H29:1,021回、H30:1,326回 R1:1月末現在1,399回の相談に対応。</p> <p>○長期休業前後をⅠ～Ⅲ期に分け80日間開設したLINE相談窓口は、425件の相談に対応。</p> <p>○インターネット・スマホ等利用に起因する性被害・加害の防止等、新たな課題への指導の充実が必要。</p>	R2年度 予算額	362,114 千円
	<p>○不登校、いじめなどの未然防止、早期発見、早期対応のための支援体制の充実のため、相談専門家の配置人数の増、資質向上を図る。</p> <p>○いじめや不登校など児童生徒及び保護者の悩みについて、安心して相談できる体制を充実させ、改善を図る。</p> <p>○すべての子どもにとって魅力ある学校となるよう学校環境の改善を図る。</p> <p>○子どもの自殺をゼロにする。</p> <p>○学校と学校以外の学びの場との連携体制等を構築する。</p> <p>○「性被害防止に関する指導・情報モラル教育」により、子どもたちの「危険を察知し回避する力」を育成し、被害防止を図る。</p> <p>(主な実施内容:スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、電話・LINE相談、「性被害防止教育キャラバン隊」の実施など)</p>	職員数	12.60 人

区分(単位:千円)	H30年度	R元年度	R2要求	R2予算案	指標及びその達成状況											
	前年度繰越	10,000			No	成果指標	H30年度末	R元年度末(見込)	R2年度							
事業額	当初予算	314,854	339,115	378,012	362,114	①	SSWを介した学校と地域関係機関との連携ケース	1,818件	1,800件	目標値	成果	達成状況				
	補正予算									1,850件						
	合計(A)	324,854	339,115	378,012	362,114					②	SSWの介入により一定の改善が図られたケース	56.80%	50.00%	50.00%		
	Aの 財源	一般財源	216,638	226,194	251,416									238,503		
県債																
国庫支出金		106,753	111,435	125,105	120,953											
その他	1,463	1,486	1,491	2,658												
決算額(B)																
概算 人員 費	職員数(人)	13	13	13	13											
	概算人件費(C)	102,085	102,085	102,085	102,085											
概算事業費(B(A)+C)		102,085	441,200	480,097	464,199											

成果指標 設定理由	①② いじめ、不登校、暴力行為などの背景にある家庭的な問題に対して、社会福祉や精神保健福祉の専門家であるSSWが介入し総合的な支援をすることにより、児童生徒を取り巻く環境等の改善を目指すため、成果目標に設定。
--------------	---

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対応
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導推進事業費について、学校環境調査の実施校数を見直し、委託料等を減額。 ・性被害防止に向けた指導充実事業費について、過去の執行状況を考慮し、報償費等を減額。
--------------	---

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	R2年度 実施内容(予定)	職員数(人)	R元年度(当初)	R2年度	
					(要求)	(予算案)
1	生徒指導推進事業費	生徒指導の充実を図り、人間性豊かな児童生徒の健全育成を目指すため、スクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー活用事業、子どもと親の相談員配置事業、いじめ・不登校地域支援事業などを実施。	9.00	317,818	358,486	343,048
2	学校生活相談体制充実事業費	児童生徒の様々な悩みの相談に応じるため、学校生活相談センターにおける電話相談事業及びLINEを活用した相談事業を実施。	3.50	18,893	17,442	17,442
3	性被害防止に向けた指導充実事業費	インターネットを介した性被害の防止を図るため、「子どもの性被害防止教育キャラバン隊」を学校派遣するほか、指導者研修会等を実施。	0.10	2,404	2,084	1,624
合計			12.60	339,115	378,012	362,114

事業改善シート附表

□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検

事業番号	事業名	生徒指導推進事業費				部局	教育委員会事務局		課・室	心の支援課		
15 06 01												
細事業 No	細事業名	項目	実施方法	R 2 年度 実施内容 (予定)	2 年度 実施内容 (実績)	R 元年度 実施状況	H30年度	R元年度	R 2 年度			
							当初 (千円)	当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)
1	生徒指導推進事業費	子どもと親の相談員配置事業	直接	不登校等の未然防止及び早期発見・早期対応のため、相談員を小学校への配置 (30人)。			27,674	27,674	27,674	27,674		
1	生徒指導推進事業費	いじめ・不登校等総合対策事業	直接	生徒指導上の課題の解決に向け、学校・教育委員会が的確に対応するための専門的な支援と助言を行います。また、すべての子どもたちが安心して学べる学校づくりを推進するとともに、不登校児童生徒の社会的自立に向けた進路選択を支援するための新たな仕組みをつくりま す。 ・生徒指導課題に対応する学校支援チーム ・いじめ問題対策連絡協議会 ・高校生インターネット適正利用推進事業 ・科学的知見に基づく学校環境調査及び予防的取組 ・不登校児童生徒の社会的自立に向けた仕組みづくり			2,511	2,289	11,771	3,228		
1	生徒指導推進事業費	子どもの自殺対策推進事業	直接	生徒のコミュニケーション力の向上と人間関係づくりを支援するとともに、教員が生徒の自殺のサインを早期に発見し、適切に対応するための研修を行う。 ・自殺予防に関する教員研修会 ・S S T等活用事業 ・アセス (学校環境適応感尺度) 活用事業 ・自殺予防及びいじめ、虐待、性暴力等から、子どもが自ら身を守るためのワークショップ			1,448	1,448	10,677	10,039		
1	生徒指導推進事業費	生徒健全育成事業	直接	生徒指導上の課題についてデータの収集及び管理を行うため、生徒指導補助員 (1人) を配置。			3,630	3,693	3,491	3,491		
1	生徒指導推進事業費	家庭との連携促進事業	直接	問題行動を起こした児童生徒の反省、立ち直り指導を充実し、学校と家庭の緊密な連携を促進するため、家庭訪問や校外補導を行う。			4,826	4,764	4,629	4,316		
1	生徒指導推進事業費	スクールカウンセラー事業	直接	児童生徒の不安や悩みを早期に発見し、適切かつ迅速に対応するため、スクールカウンセラー (105人) の配置及び派遣を行う。 ・小・中・高・特別支援学校への S C の配置及び派遣 ・長期欠席している児童生徒への訪問支援 ・緊急対応の S C 派遣 ・台風19号の被災児童生徒等の支援			170,598	170,952	191,416	186,865		
1	生徒指導推進事業費	スクールソーシャルワーカー活用事業	直接	児童生徒の問題の背景にある家庭的な問題を早期に発見し、総合的な支援をするため、スクールソーシャルワーカー (35人) の配置及び派遣を行う。			79,049	93,728	95,758	94,365		
1	生徒指導推進事業費	いじめ・不登校地域支援事業	直接	学校が抱えている問題の相談に対し、S S Wや S C と連携して、困難を抱える児童生徒の早期発見、早期支援を行うため、いじめ・不登校相談員 (4人) を配置。			13,681	13,270	13,070	13,070		
1	生徒指導推進事業費	学校事故被害者等支援事業	直接	児童生徒の死亡・重傷事故が発生した際、関係者を支援するため、専門家等を派遣する。			52	0	0	0		

事業番号	事業名	生徒指導推進事業費				部局	教育委員会事務局	課・室	心の支援課					
15 06 01														
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	R 2 年度 実施内容（予定）	2 年度 実施内容（実績）	R元年度 実施 状況	H30年度	R元年度	R 2 年度					
							当初 (千円)	当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)		
2	学校生活相談体制充実事業費	学校生活相談センターの電話相談事業	直接	いじめや不登校など学校生活における児童生徒の様々な悩みについて相談窓口を設置。 ・24時間対応 ・臨床心理士（1人）配置 ・電話相談、メール及び来所相談に対応 ・PRチラシの作成、全学校へ配付			4,541	4,533	4,822	4,822				
2	学校生活相談体制充実事業費	学校生活相談センターの電話相談事業	委託	夜間、休日の電話相談を受けるため業務を委託する。			4,320	4,360	4,620	4,620				
2	学校生活相談体制充実事業費	SNSを活用した相談体制構築事業	委託	いじめや不登校などに起因する自殺防止に向け、長期休業の前後等に「LINE相談窓口」を設置。			0	10,000	8,000	8,000				
3	性被害防止に向けた指導充実事業費	「子どもの性被害防止教育キャラバン隊」の設置・派遣	直接	インターネットを介した性被害の防止を図るため、 ・「子どもの性被害防止教育キャラバン隊」による「性被害防止に関する指導」及び「情報モラル教育」を実施。 ・性被害防止に関するリーフレットの作成、配布。 ・教職員対象の指導方法等研修会の実施。			2,524	2,404	2,084	1,624				
合 計							314,854	339,115	378,012	362,114	0	0		